

ツキノワグマとの「ばったり遭遇」を防ぎましょう ～クマ鈴、ラジオ等で音を出し、朝夕の入山を控えてください～

上伊那地域では、9月5日に伊那市高遠で、キノコ採りで入山していた方がクマに遭遇し、負傷する人身事故が発生しました。

キノコ採りなどで山林へ立ち入る際には、自分の身を守るため、十分な対策や注意をお願いします。

秋はクマの活動が活発となり、人身被害の危険性が高まる時期です。クマとの遭遇を避けるための対策を必ず行いましょう！

○クマに自分の存在を知らせる

- ・クマ鈴、笛、ラジオ等を携帯し、音を出しながら行動しましょう。
- ・沢沿いなどでは音が届きにくいので、特に周囲への注意が必要です。

○朝夕の入山を避け、複数人で行動する

- ・朝夕はクマの活動が活発になる時間帯です。
- ・早朝・夕方の行動は特に注意しましょう。
- ・1人ではなく複数人で行動しましょう。



○クマの痕跡を見つけたら引き返す

- ・クマの足跡や糞などを見つけたら引き返しましょう。

○子グマを見かけたら直ちに離れる

- ・近くに母グマがいる可能性があります。
- ・接近せず、静かにその場を離れましょう。



【参考：長野県ホームページ】

・ツキノワグマ対策 県民の皆様・長野県へ訪れる皆様へ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/bear.html>

・ツキノワグマの目撃情報が一目でわかるスマートフォンアプリ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shinrin/sangyo/ringyo/choju/joho/kuma-map.html>



ツキノワグマ対策
について(長野県HP)



クマ目撃情報マップ
「けものおと2」

長野県産木材のある穏やかな
暮らしをマークにしました



長野県産木材ロゴマーク &
キャッチフレーズについて
こちらから➡



つながる木のいのち

NAGANO WOOD PRODUCT

(問合せ先) 上伊那地域振興局林務課林務係
(担当) 田中 福澤

電話 0265-76-6823 (直通)

ファクシミリ 0265-76-6828

電子メール kamichi-rimmu@pref.nagano.lg.jp

秋のクマに 注意



秋は、クマが冬眠に備えて栄養を蓄えるため、ドングリ等の山にある食べ物を一日中探し回ります。ドングリ等が不作の年は、クマが食べ物を求めて人の生活圏に出没し、カキ等を食えることがあるため注意が必要です。

人の生活圏にクマを引き寄せない対策を

① カキ等の果実は収穫し、不要な果樹は伐採を

クマが好むカキやクリ等の果実は放置せず収穫し、不要な果樹は伐採するようにしましょう。廃果も放置せず、回収して処分しましょう。



② 生ゴミは収集日の朝出す

クマはニオイにとっても敏感で、生ゴミはクマを引き寄せることがあります。生ゴミは、収集日の朝に出しましょう。漬物、廃油、油性塗料、燃料等のニオイがする物もクマを引き寄せるため、外に置かず建物の中で管理しましょう。

③ ヤブを刈払う

クマはヤブに身を隠しながら人の生活圏に近づきます。地域で協力して、ヤブを刈払いましょう。



❗ クマと出会わないよう下記のことに注意してください ❗

朝夕の行動は避ける



朝夕はクマが活発に活動します。この時間帯に山中に入ることは避けましょう。

鈴、ラジオ、笛の携帯を



クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。人の気配を感じたクマは自ら避ける傾向があります。笛、ラジオ、クマ鈴など音の出る物を携行しましょう。

キノコ採りは複数人で



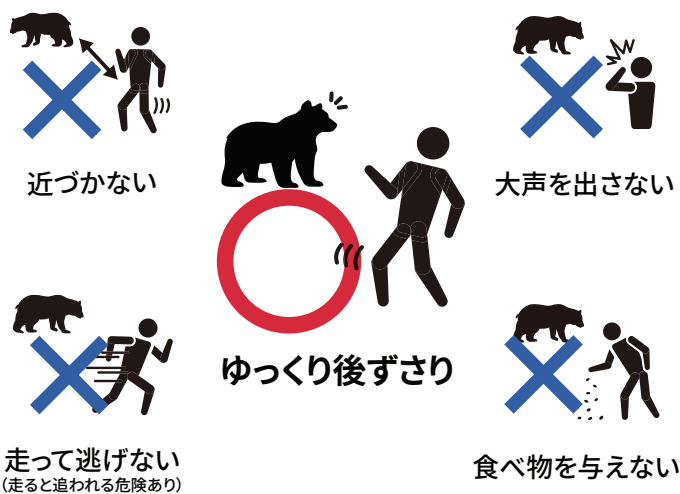
クマはキノコを好んで食べるため、キノコ採りはクマに出会う確率が高くなります。複数人で行動するなど、十分注意しましょう。

食料・生ゴミは必ず持ち帰る



クマは嗅覚が鋭いため、キャンプや登山等では、食料・生ゴミは必ず持ち帰りましょう。人の食べ物の味を覚えたクマは出没を繰り返すようになり、人身被害につながる恐れがあります。

出会ってしまったら



クマが襲ってきたら



うつ伏せで首の後ろに手を組み、防御姿勢をとりましょう（首・顔・腹を守る）。リュックサックは背中を守ることができるため、背負ったままにしましょう。
※この防御姿勢は、致命傷を避け、重傷化を防ぐための最終手段です。クマが立ち去るまで動かずに待ちましょう。

クマを目撃した場合は、
最寄りの市町村役場または**警察**へご連絡ください。

県のホームページのほか、クマ目撃情報マップ「けものおと2」を活用してください。



ツキノワグマ対策
について(長野県HP)



クマ目撃情報マップ
「けものおと2」